

2023 年度
事業報告書

鎮西学院本部

認定こども園 鎮西学院幼稚園

鎮西学院高等学校

鎮西学院大学

学校法人 鎮西学院

長崎県諫早市西栄田町 1212 番地 1

学 院 本 部

鎮西学院 2023 年度事業報告

建学の精神・鎮西学院の目指す人間像

1881 年（明治 14）、鎮西学院は、北米メソジスト監督教会から派遣された宣教師 C. S. ロングによって、長崎市東山手に設立された。生徒 12 名と教師 4 名からスタートした学院は、今や認定こども園・高校・大学までを擁し、卒業生の総数が 1 万 5 千人を超える総合学園に発展した。140 年を超える長い期間には、原子爆弾による被爆を経験し、また災害にも遭遇した。しかし鎮西学院は常に望みと信仰を棄てず、神への信頼をおく者の強さを発揮して今日に至っている。

少子高齢化と人口減少、国際化など、教育をめぐる環境は時代とともに変化し、私学のあり方もその根本が問い直されている。しかしそのような状況にあっても、創立者 C. S. ロングの教えである Be Christian Gentlemen！（キリスト教精神をもった紳士たれ）という建学の精神は、21 世紀の現在でも生きており、クリスチャン・マインドを持った教養人を育むことは、学院の創立意義であり、将来変わることはない鎮西学院にとっての真理である。

川崎升元院長が提唱した「敬天愛人」のスクールモットーは、戦時下の学院を閉校の危機から救った。「敬天愛人」のスクールモットーは、鎮西学院に連なる多くの人々の基本的な生き方の姿勢であるといっても過言ではない。

事業の概要

(1) 2023 年度目標聖句

愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。愛することのない者は神を知りません。神は愛だからです。神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです。いまだかつて神を見た者はいません。わたしたちが互いに愛し合うならば、神はわたしたちの内にとどまってくださり、神の愛がわたしたちの内ですべて全うされているのです。

ヨハネの第一の手紙 第 4 章 7-12 節

(2) 事業の概要

当年度は、大学・高等学校等も学生生徒募集が好調で、ともに収容定員を上回る在学学生を得ることができた。

鎮西学院幼稚園は、当初の予定より半年遅れで新園舎が完成し、2023 年 7 月 1 日より、

認定こども園への移行を完了した。これにより、収容定員（利用定員）は115人となった。

大学事務局・高等学校における変形労働時間制・裁量労働制の導入、認定こども園における処遇改善等、教職員の働き方改革・労働環境の改善に努めてきた。

2023年7月15日、市民公開講座として大久保潔重諫早市長と姜尚中学院長との諫早の未来を語り合う対談企画を諫早文化会館で開催した。

毎年行われる8月9日の平和祈念式典は、台風接近に伴い中止となった。

(3) 鎮西学院 第Ⅱ期中期計画(2023年度～2027年度5か年)

当年度は、前年度より策定作業を進めてきた鎮西学院第Ⅱ期中期計画（2023年度～2027年度5か年）を、5月定例理事会・評議員会で決定した。同計画の概要は以下のとおりである。

計画	対象年度	テーマ
第Ⅱ期中期計画	2023年度～2027年度	キリスト教主義総合学園としての経営力強化と継続的・安定的な財務基盤の構築

第Ⅱ期中期計画の達成目標は、第Ⅰ期計画で未達であった目標の早期達成を目指すとともに、中心的課題を「キリスト教主義総合学園としての経営力強化と継続的・安定的な財務基盤の構築」とし、財務目標を以下のように設定した。

- | |
|--|
| <p>◆目標① 経営判断指標：現状 B0→最終年度 A3 以上 経常収支差額比率 10%以上
B0：・教育活動資金収支差額が3か年のうち2か年以上黒字だが経常収支差額が2か年以上赤字の状態
・外部負債を約定通りに返済できる状態
A3 以上：教育活動資金収支差額・経常収支差額が3か年のうち2か年以上黒字の状態。</p> <p>◆目標② 経常収支差額の黒字化とその維持 計画3年目以降 黒字化</p> <p>◆目標③ 受入学生数：全部門における収容定員の確保</p> |
|--|

また、第Ⅱ期中期計画をリーディングする次の5つのプロジェクトに取り組む。

- ① 建学の精神・教育理念「体系化」プロジェクト
- ② SDGs 教育推進プロジェクト
- ③ 鎮西学院「平和学」「平和教育」プロジェクト
- ④ 地域に開かれた学院キャンパス魅力度アッププロジェクト
- ⑤ 鎮西学院ガバナンス改革推進プロジェクト

なお、計画初年度の財務目標の達成状況は、以下の通りとなった。

- ◆ 目標① 経営判断指標： B0
- ◆ 目標② 経常収支差額： 1,207 万円の支出超過（前年比 783 万円減）
- ◆ 目標③ 受入学生数（2023 年 5 月 1 日現在）：
収容定員充足率 大学 106.0% 高校 106.8% 幼稚園 66.0%
2023.7.1 認定こども園発足 2024.3 定員 115 実数 96 83.5%

(4) 施設等の状況

【主な施設設備の取得】

幼稚園舎新築	2 億 7,943 万円
高等学校テニスコート擁壁工事	1,680 万円

(5) 責任限定契約、役員賠償責任保険契約の状況

・ 責任限定契約

理事、監事及び評議員については、私立学校法第 44 条の 2 第 4 項に基づき学校法人鎮西学院寄附行為第 53 条に定められた損害賠償責任の限定に関し、在任する期間について、契約締結。

・ 役員賠償責任保険契約の状況

保険名称：私大協役員賠償責任保険制度
保険期間 2024 年 4 月 1 日～2025 年 4 月 1 日
保険期間中総支払限度額：3 億円
保険取扱：東京海上日動火災保険株式会社

認定こども園鎮西学院幼稚園

キリスト教保育を中心として子ども達を育む

「子ども達を私のところに来させなさい。妨げてはならない。

神の国はこのような者たちのものである。」

マルコによる福音書 10章 14節

～子どもは神様から預かった大切な存在～

今年度は新園舎が完成し、『幼稚園型認定こども園』へ移行する

幼稚園にとっては新たなスタートの記念すべき年。

長時間幼い子どもたちを預かる使命感を持ち、愛情を込めて「乳幼児からの保育」と地域の「子育て支援」に尽力する。

◎園舎完成

- | | |
|----------|---|
| 2022年12月 | 園舎解体時の不燃物処理、解体後の地盤補強に時間を要し、
4月完成は難しいと業者より申し出あり（モリ設計・宅島建設） |
| 1月 | 市の担当者へ相談 → 国へ補助金の繰り越し申請書を提出
保護者へ園舎改築の進捗状況説明（院長・理事長・事務局長出席） |
| 2023年6月 | 園舎完成 |
| 8月 | 園庭工事・追加工事完成 |

◎認定こども園への移行

園舎完成後、県の現地確認 → 認可が下り次第移行

2023年6月 現地調査 → 6月29日認可

保護者へ移行に関する説明会

7月1日より 認定こども園 鎮西学院幼稚園としてスタート

教育（保育）の基本方針

幼児における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである。学校教育法第22条に規定する目的を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。

～教育・保育にあたり重視すること～

- ・ 幼児の「主体的な活動」を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるようにする。
- ・ 遊び＝学び。子どもの主体性と子ども同士の関わりを大切にし、自由に遊ぶ環境を保証して、「非認知能力」を育てる。
- ・ 幼児の自発的な活動としての「遊び」は、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であるので、「遊び」を通して次の5領域 ①健康 ②人間関係 ③環境 ④言葉 ⑤表現のねらいが、総合的に達成されるようにする。

- ・認定こども園移行後は、乳児から長時間保育を行う。保育の目標「生命の保持」「情緒の安定」「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものとの関わり感性が育つ」のねらいが達成され、5領域と繋がるようにする。
- ・各々の年齢に応じた活動内容（デイリープログラム）に合わせ教育・保育を行い、園児の生活リズムを整える。
- ・食事は心身を育てる大切なものであることから、委託業者と連携をし、各々の年齢にあわせた食事内容、食育の充実に努める。
- ・幼児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにする。

「幼児期の終わりまでに育って欲しい資質・能力」を常に意識した教育活動の展開

「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」（10項目） 幼稚園教育要領・認定こども園教育保育要領共通

- ①健康な心と身体 ②自立心 ③協同性
- ④道徳性・規範意識（ルールを守ろうとする意識）の芽生え
- ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり、生命尊重
- ⑧数量・図形・文字等への関心・感覚 ⑨ことばによる伝え合い ⑩豊かな感性と表現

- ◎保育園勤務経験のある先生方を中心に、乳児保育の計画・準備等、計画的に進めることが出来た。定員が少ないこともあり、愛情深く、手厚い保育が出来た。
- ◎仮園舎生活中は、年長児が島鉄電車で園外保育へ出かけたり、全園児が図書館で本を借りたり、近隣の公園へ出かけるなど、仮園舎生活ならではの活動を重視した。

（1）教学改革計画

7月1日より、「幼稚園型認定こども園」へ移行

- ◎ 5月 市・子ども政策課 園舎完成状況確認
- 6月 県・こども未来課 認可に係る現地調査
園開催：保護者へ移行に関する説明会
仮園舎からの引っ越し
- 7月 こども園移行にあたり、契約職員増員
- 9/8 献堂式① 礼拝（鐵口宗久牧師） 園長挨拶
参加者：園児・保護者・教職員
終了後、西山ホールにて長崎県警音楽隊演奏会（保護者主催）
- 10/28 献堂式② 礼拝（鐵口宗久牧師） 理事長・院長・市長（来賓代表）挨拶
感謝状贈呈（モリ設計・宅島建設）・園長お礼の挨拶
参加者：市長、行政関係者、モリ設計代表、宅島建設代表、日本基督教団牧師（諫早教会・大村教会）、市内幼稚園園長、御館山小学校長、西栄田自治会長、学院理事、旧教職員他

- ◎ 2、3号受け入れに関して、市との調整や手順、11時間開所に伴う教職員のシフト組など慣れないことが多かったが、全職員で乗り越えることが出来た。

◆保育内容の充実

① キリスト教保育（敬天愛人）の充実

- ◎キリスト教の行事「花の日子どもの日」では、年長児が仮園舎でお世話になった諫早教会の方々へお花を届け、手作りうちわや歌のプレゼントをして、喜んでいただいた。

② PDCA（計画・実行・評価・改善）を忠実に

年間保育計画 → 月案 → 週案

- ・担任が立てた計画を、園長・主幹が、必ず目を通し、共に考え、アドバイスする。
- ・職員会議Bにて、全員で保育内容の検討を行う。

- ◎週案提出（幼稚園） … 第2，4月曜日

- ◎業務記録・運転日報・週案（保育部）の提出 … 第1，3月曜日 } 園長・主幹2名
検印

- ③ 協議等の時間確保のため、毎日の終礼（連絡会）を有効に。

- ④ 進級時、新旧担任間で、書面だけでなく口頭で引継ぎを行う。

⑤ 自己評価

- ・各自1年間の振り返りを行う。個々の意見を聞き、園全体の問題点を検討・改善する。
- ◎こども園になり、課題（効率的な仕事の進め方、記録の様式、勤務体制など）が出たため、職員アンケート実施にて意見を集約し、職員会議にて改善を行った。

- ⑥ 連絡簿作成。全教職員が目を通しチェックを入れ、細かい伝達不足を避ける。

- ◎こども園になり、全教職員が揃う会議が出来なくなったため、連絡簿の重要性が高まり、確認印を押し、伝達漏れ、共通理解不足がないように努めた。

⑦ 行事の計画的実践

- ・全ての行事の起案を早めに ～個人の力から組織の力へ～
- ◎業務量が増え、起案が遅くなりがちだったため、2024年度は計画的に実行中。

◆教職員の資質向上

- ◎処遇改善加算Ⅱ支給要件であるキャリアアップ研修参加。

◆学院全体を意識した活動の展開

◆園長の絵本の読み語り

(2) 園児募集対策と園児数・学納金等計画 (5月1日園児数 66/100)

年齢	人数 <u>(3月実数/定員)</u>		
0歳	3/3		
1歳	6/6		
2歳	6/6		
人数計(保育部)	3号 <u>15/15</u>		
満3歳	1号 7/10		
3歳	1号 11/20	2号 7/10	18/30
4歳	1号 16/20	2号 10/10	26/30
5歳	1号 15/20	2号 15/10	30/30
人数計	1号 <u>49/70</u>	2号 <u>32/30</u>	<u>96/115</u>

〈園児募集対策〉

◆認定こども園移行

- 開園時間11時間以上(7:30~19:00) ○利用年齢(0歳~6歳)
- 土曜日保育の実施 ○自園調理(業者委託)の完全給食 ◎シダックスフードサービスへ委託
- ◎保育部 0、1歳 8月満員 2歳 11月満員 低年齢児保育の必要性を実感した。

◆在園児保護者への丁寧な対応

園児確保の最大の力は、在園児保護者や家族の評価・評判が最大の広報となる

- ◎保護者(在園児、入園を待っておられる保護者含)の不安や不信感がでないよう、説明会を行うと同時に、個別相談も実施し、丁寧な対応に努めた。

- ・園舎改築の遅れと今後の見通しについて
- ・認定こども園へ移行後もキリスト教保育を基盤とした園の教育方針は変わらないことについて
- ・「認定こども園とは？」移行後は、各々の保護者の就労他各家庭に合った教育・保育の提供が受けられることについて
- ・完全給食について(役員会で相談、また保護者アンケートにより全員給食と決定)

◆幼稚園評価から見出した課題を、来年度の改善目標とする

- ◎2023年度幼稚園評価については、全体的には高評価であった。

「子どもに挨拶や基本的な生活習慣が身につくよう努めている」

- ・そう思う 81%、だいたいそう思う 18% 99%

「子どもは園での教育・生活を通して、成長している。」

- ・そう思う 98%、だいたいそう思う 2% 100%

「自然に触れ合う教育を行っている」「教育活動の充実に努めている」の評価が、前年度より、少し下がっていた。これからも学院内全体を使い、自然に触れ合う経験ができるよう努める。また、教育活動の充実に努めると共に、それについての積極的発信を行う。

◆園長だより発行

- ◎月1回の発行だったため、2024年度は2回にする。

◆園だより・クラスだより・フォトレターを毎月発行

◆預かり保育の充実（1号児支援）

◆保護者との連携推進

毎月の定例役員会を大切に

◎役員負担軽減のため、配布文書をメール配信にすることや、毎月の定例役員会の回数見直しなどが検討されている。また、イベント委員（以前のバザー委員）については2024年度から廃止。

◆地域のニーズにあった子育て支援の充実

おひさまくらぶ&グリーンクラブ（未就園児親子遊びの集い）

認定こども園移行後は、主幹教諭2名を中心に親子遊びの集いに加え「教育・育児相談事業」「育児支援家庭訪問事業」を実施。地域の子育て支援に積極的に取り組み、保護者を温かく支える。

◎原則週3日の子育て支援活動が必須。親子遊びの集いに加え、園庭開放、園見学会など実施。

◆ホームページ・SNSによる情報提供、広報活動の充実

◆満3歳児受け入れ強化

（3）施設等整備計画

◆新園舎完成

◎追加工事

①園門へのスロープ ②中央階段手すり及び扉 ③道路嵩上げ及び舗装

◆園庭整備の推進

（4）危機管理

子どもの生命、健康を預かっているとの使命感を持ち、学期ごとに全職員で安全点検する。

◎バス安全装置設置（置き去り防止）

◎移行後は、月1回の火災避難訓練実施。不審者、地震については年各2回実施。

◎他施設でうつぶせ寝、食事中の事故、熱中症などが報道された際は、必ず、注意喚起し、当園での対応を再確認した。

（5）感染症対策

（6）教職員への配慮（働き方改革）

◎2023年度については、園舎建て替えとこども園移行でかなり多忙であったが、2024年度は、園務分掌整理実施（担当業務内容の明確化、分担の見直し等）、できるだけ業務量の偏りがないよう努める。

鎮西学院高等学校

2023 年度鎮西学院高等学校事業報告

1. 定員 300 名確保＝最大の目標—「教育の 5 本柱」と「本校の強み」を活かして他校との差別化進める

◎教育の 5 本柱

- ①幅広くて確かな進路保障
- ②盛んな部活動
- ③グローバル教育
- ④ICT 化教育
- ⑤キリスト教教育

年度	2019	2020	2021	2022	2023
入学生徒数(全校生徒数)	320 (945)	334 (967)	323 (949)	346 (969)	320 (969)

- ・7年連続定員超で、全校定員 900 名超を維持—県内 93 公立私立高校で 2 番目の規模
- ・奨学生及び公務員・GE コースの影響で優秀な生徒が増え、進路実績も向上し、中学校訪問時の報告書や保護者や地元からいただく言葉などからして周囲の評価は着実に上昇していると感じる
- ・中学校や保護者から面倒見の良い学校として評価していただいているが、コロナ禍の影響で退学者・転学者増で課題は残る(他校も同様)

2. 23 年度の具体的目標及び取組

①幅広くて確かな進路保障—「進路の 3 本柱」の更なる充実と学院大との連携強化

1) 進学

- ・国公立大学合格者 30 名以上合格(旧帝大 1 名以上含む)
- ⇒総数 40 名合格も旧帝大 0 で半分達成
- ・ICU や青山学院・同志社・関西学院・西南学院等キリスト教学校同盟を中心にした有名私大への進学
- ⇒早稲田・上智・青山学院・立教・法政・明治学院・同志社・関西学院・西南 6・福大 8 などで達成
- ・グローバルイングリッシュコース生による国際系・英語系の大学・学部への進学
- ⇒長大多文化、上智仏文・西南国際・近大国際などに合格、マレーシアの大学に直接進学者もあり達成
- ・「鎮西学院大学進学促進委員会」中心に内部進学率高める—大学の評価向上必須
- ⇒77 名合格し 45 名進学で達成(過去 2 番目の数)

2) 公務員

- ・公務員現役合格者 60 名以上合格(一般職 20 名以上)
- ⇒小人数クラスながらも長崎県庁(5 年連続)3 名を始め一般職 34・自衛隊 36 計 70 名合格で達成

3) 就職

- ・就職率 100%達成と有名企業への就職者の増加
- ⇒13 年連続就職率 100%達成

②盛んな部活動

- 1) 学校活性化, 学校の知名度及びイメージのアップに必要
- 2) 部活動の加入率は 80%超, 部活動の学生募集に与える影響は大きい
- 3) 高校総体優勝旗 4 本(卓球男女・サッカー女子・駅伝男子)を目指す
- 4) 奨学生(特に A)の全体数は可能な限り減らしていく

- ・高校総体の優勝 4 種目(卓球男女・サッカー女子・駅伝男子)達成で獲得数は県内第 2 位
- ・県高体連強化校・推進校指定 5 クラブ・県高文連文化活動推進校 1 で県内最多
- ・ベスト 8 以上 13 クラブで県内トップクラス
- ・S+A 奨学生入学数は横ばい(82→82)、全体としては 241→253 で微増

③グローバル化の推進

1) 質の高い留学生の積極的受入れ

- ・23 年度は 32 名でスタート予定、10 月に 10 名程度入学予定
- ⇒10 月以降は 8 名入学
- ・未創社と協力して入学試験・面接を実施し質の高い留学生の確保(最大定員の 5%・年 15 名程度)
- ⇒より確実に生徒を評価するため未創社による現地試験を実施
- ・「留学生委員会」羽根田係長・齋藤教頭中心にきちんとした指導体制が整ってきた
- ・AFS などからの短期の留学生も積極的に受け入れていく
- ⇒AFS2 名・アップルビー2 名受け入れ
- ・来年度の全国高校駅伝大会上位入賞を目指し駅伝男子にケニア人留学生を 0 年生として勧誘する
- ⇒3 月に来日し入学、多くのマスコミに取り上げられた(持ちタイムは県高校記録を上回る)

2) 海外の高校・訪問団との交流再開

- ・上海アレートバイリンガルスクールからの訪問団の受け入れ(5 月)
- ⇒先方の都合で実施できず
- ・北京の名門、滙文中学校・潤澤中学校との相互訪問—将来的な留学生受け入れにつなげる(大学も)
- ⇒中国の国内事情を考慮し実施せず

3) 海外研修への積極的参加促進

- ・文科省主催「トビタテ留学ジャパン」・日本赤十字主催海外ボランティア他
- ⇒「トビタテ留学ジャパン」に採用され 1 名フィンランドに研修参加
- ・可能であれば学院大主催の東南アジアへの研修にも参加させたい
- ⇒実施できず

4) 海外修学旅行

- ・1G は 12 月に上海、2G は 7 月にアメリカを予定
- ⇒上海は中国国内事情で未実施、アメリカは 7 月中旬から下旬にかけて実施
- ・2 年生(G 組除く)は 24 年 3 月にシンガポール or 韓国で実施予定
- ⇒予定通り実施

④ICT 化の推進

- 1) 全校生徒がタブレット所持、今年度は ICT 諸費として ¥3,000/月全員徴収
- 2) 吉川指導監・濱田 ICT 主任・林原ギガスクールサポーターを中心に環境の改善や、校内研修会などを行い、全教職員が共通意識をもって進めていく
- 3) 今年度も私学の助成金等あれば、積極的に活用する
 - ・生徒の発表時や様々な学校からの連絡等にタブレットを使用することが当たり前となってきた

⑤キリスト教教育

- 1) 日々の礼拝・様々な宗教行事を通じ信仰心を修養、同時に愛校心も涵養していく(=学院の根幹)
- 2) 今年度から 7 月の修養会を従来の 2 泊 3 日に戻して実施する

- 3) 科・コース・部活動・進路等において様々である生徒を一つに結びつける役割
- 4) ミッションスクールらしく品性を大切に容儀とマナーを徹底(高校生らしく・地元で愛される)
 - ・修養会は4年ぶりに2泊3日で実施(キャンドルサービスのみ中止)し生徒たちから好評を博した
 - ・学校クリスマスは4年ぶりにフル開催し、ハレルヤコーラスも出色の出来であった
 - ・生徒指導事例は例年よりも少し多かった(5⇒6⇒8)が他校に比べると圧倒的に少ない
 - ・生徒の感想文等を読むと学院での自らの変化を感じている生徒が多く、キリスト教教育によって大きく成長していることが分かる

6. 23年度の重点目標

①予算面

- 1) 23年度教育充実費及びICT諸費を¥500ずつ値上げして1,000万円余りの増収
 - ⇒電気代は予想よりも値上がり幅は縮小し、ガス代はむしろ下がったため出費は予想を下回った
- 2) 修養会・芸術鑑賞等の実費を全部または一部徴収(受益者負担を増やす)・PTAからの援助受ける
 - ⇒修養会は徴収費用増額し(¥1,000)、芸術鑑賞費はPTAから全額支出
- 3) A奨学生数削減
 - ⇒233⇒244で微増もB奨学生数減233⇒217によって奨学費は横ばい
- 4) 昨年に引き続き節電・節約等を常に呼びかける
 - ・上記のようなことから予算外のテニスコート擁壁工事¥1,650万支出も収支ほぼ均等で済んだ

②教育面—アウトソーシングの利用積極的に

- 1) 国公立大学進学コースの学力アップ—スクールTOMAS社と契約しAI教材atama+を導入2年目
 - ⇒十分な成果を出しているとは言えないが、話し合いを重ね運用の方法は改善されてきている
- 2) 一般進学コースの基礎学力強化—e-learning教材「すらら」の次年度導入に向けて活用を試行する
 - ⇒24年度より1年生一般進に導入決定(費用は実費を徴収する)
- 3) GEコースの海外研修(アメリカ・中国)の実施
 - ⇒アメリカ研修やEnglish Camp実施、生徒に深い印象を残し語学力アップ、英検準1級6名取得
- 4) 公務員コース・GEコースの部活動奨学生の取り扱いを変更する
 - ⇒公務員コース1年生⑦及び土曜補習を廃止し、GEコースも部活動奨学生入学可に(GE活動優先)

③教員関係

- 1) 変形労働時間制(年単位)を試行
 - ⇒大きな問題なく実施できた
- 2) 若手教員の授業力アップ—積極的な外部研修への参加促す
 - ⇒公務員関係で実施

④生徒募集関係

- 1) ブランドカのアップ—各科・コースの推薦基準・合格最低点の引き上げ
 - ⇒基準・点数は据え置き
- 2) ホームページの強化—SNSを駆使して広報に勤める
 - ・Facebookでのこまめな情報の発信⇒実施できた
 - ・進路実績の着実な広報⇒実施できた

- ・部活動実績のタイムリーな広報⇒実施できた
 - ・Youtube サブチャンネルでの中学生対象に少し柔らかめの情報発信⇒実施できた
- 3) 23年度入試から Web 出願に移行—今年度は更に入学金の納入・合格発表等にまで広げていく
⇒予定通り実施し、大きなトラブルはなし

⑤その他

1) 教職員の疲弊感解消・やる気の涵養・意識改革

- ・変形労働時間制の導入によって自由度を増す(事務職員は交代で)
- ・月曜日を原則ノ一部活デーに設定・試験中土日の原則練習禁止
- ・校長面談の実施・会話のキャッチボール増やす
- ・活躍を認め合い称えあう雰囲気醸成—Weekly Speech, ノンクリスチャン講話, 教員表彰等実施
- ・収益事業設立に向けたブレインストーミングの実施

⇒全て予定通りに実施できた

2) 教室不足の解消—プレハブ校舎の設立準備(場所・費用・資金集め等)

⇒実施できず

鎮西学院大学

学校法人鎮西学院 鎮西学院大学 2023 年度事業報告

1. 教学改革の進捗状況

1) 入学定員・収容定員の確保

今年度も全教職員の継続した努力の成果が実り、4年連続で入学定員を上回る学生を獲得することができた。さらに収容定員も充足し、第Ⅱ期中期計画の計画初年度の目標を達成できた。

2) カリキュラム改革への取り組み

2024年度の現代社会学部から総合社会学部へ、外国語学科から多文化コミュニケーション学科への学部・学科名称の変更を前に、カリキュラム改革を以下の要領で実行した。

- ① 教育課程を「基盤教養教育」「コアモジュール」「専門教育」に再編成
- ② 基盤教養教育の強化:教養教育の再構築、キャリア教育(就職試験対策含む)の充実、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」の導入
- ③ コアモジュール:学部共通の学びの質保証、初年次教育、導入から展開までの段階的 PBL の構築
- ④ 専門教育:主専攻・副専攻制の導入による 3 学科 + α の魅力創出

3) 学生の自己実現に向けたキャリア支援の成果

卒業生の就職率は高い水準で推移しており、全学的キャリア支援プログラムの成果が継続して出ている。また、留学生においても、就職希望者のほとんどが国内企業に正社員として内定しており、高い就職率となっている。

【就職・進路実績】

● 就職率

	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
全体	92.5%	95.6%	93.6%	91.7%
社会福祉学科	88.9%	96.6%	94.7%	100%
経済政策学科	93.2%	92.1%	97.2%	89.7%
外国語学科	91.1%	97.8%	86.9%	85.7%

就職者(2023年度) 98人 ※就職希望者 106人 / 卒業生 119人中

(内訳) 一般企業79名 医療・福祉12名 公務1名 教職3名

経済団体2名 協同組合1名 ※県内 49人 県外 49人

- 主な就職先: 長崎県(社会福祉職)、長崎県教員(特別支援教諭)、(福)長与町社協、(福)ことの海会、(福)山陰会、医療法人社団中津胃腸病院(大分県)、(医)和光会(介護老人保健施設 恵仁荘)、(株)Noie おはなのいえ、NPO法人かぜのおと(くやまドレミ)、(福)清心会(特別養護老人ホーム喜楽苑)、NPO法人ロバの会、(株)池田建設、(株)エイジェック、ALSOK福岡(株)、(株)サンドラッグ、メットライフ生命(株)、ダイキンHVACソリューション九州(株)、大成不動産システム(株)【ホテル華翠苑】、(株)十八親和銀行、(株)長崎銀行、長崎自動車(株)、コトブキ製紙(株)、ハウステンボス(株)、長崎県中小企業団体中央会、大村商工会議所、JA長崎せいひ など

● 留学生のみ

	2023年度
就職率	90.0%
進学率	2.9%

就職内定者 27人 ※就職希望者 30人／留学生数 34人中
 未内定者 3人
 進学者 1人
 帰国者 3人

【資格取得支援】

● 福祉関係国家資格新卒者合格率 ※カッコ内は全国平均

	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
社会福祉士	52.6% (58.1%)	65.2% (44.2%)	7.1% (31.1%)	26.7% (29.3%)
精神保健福祉士	66.7% (70.4%)	100% (71.1%)	60.0% (65.6%)	66.7% (64.2%)
W受験	66.7%	100%	20.0%	66.7%

2023年度 社福:10/19 精神:4/6 ダブル:4/6

● 情報処理関連資格(CS検定) 受験者・合格者(人)

	ワープロ 2 級			表計算 2 級		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
2020 年度 集計	41	5	12.2%	2	1	50.0%
2021 年度 集計	38	12	31.6%	17	3	17.6%
2022 年度 集計	49	11	22.4%	8	3	37.5%
2023 年度 集計	47	16	34.0%	11	4	36.4%

● 英語教育(TOEIC)

	受験者数(人)	最高スコア(点)
2020 年度	69	750
2021 年度	64	870
2022 年度	53	760
2023 年度	51	840

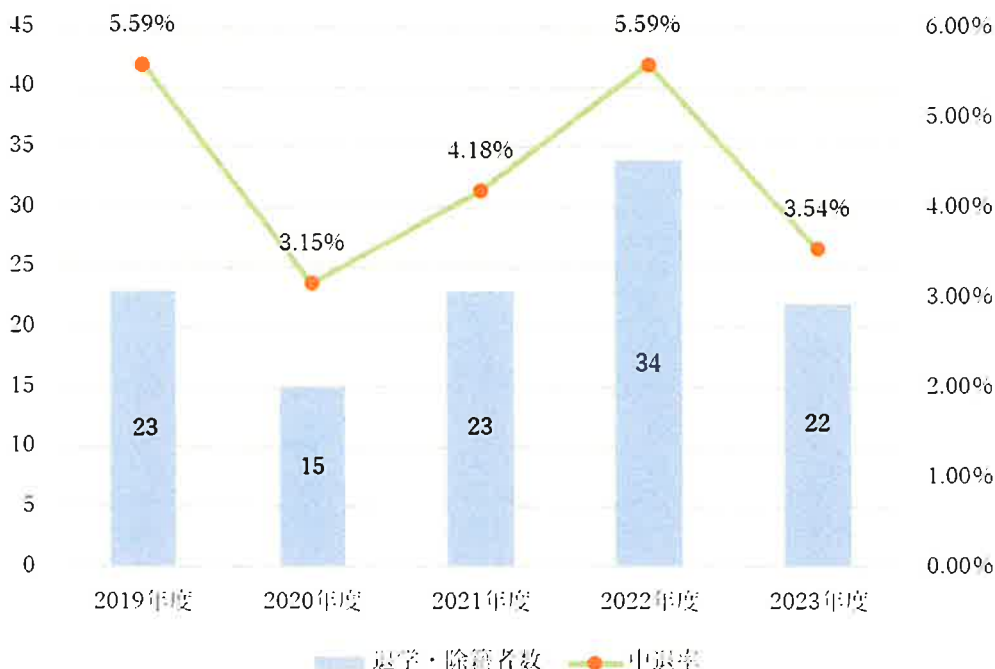
4) 修学支援への取り組み

- 学事行事は、入学式、卒業式における入場制限を除き、大学祭等、ほぼコロナ禍前の状況に近い形で開催できた。
- 学生の新たな居場所づくりの一環として、学生ラウンジに個別ブースデスクとハイデスク・チェア一セットを設置するとともに、学生食堂のメニュー改善、キッチンカーの配置など、アメニティの向上を図った。
- 昨年度と同様、就学支援の一環として、国の助成制度を活用し、新たな修学支援制度が適用されない学生(留学生含む)の学費減免を実施した。

5) 中退予防

中退率 5%以下を目標として、学科を中心にキャンパスソーシャルワーカー、学生支援課、学生委員会との一体的かつ総合的な学生支援体制のもと中退予防に取り組んでおり、当年度は 2022 年度より大幅に減少し、取り組みの成果が表れている。

【退学・除籍者数と中退率の推移】



6) 留学生の派遣・受け入れ

当年度秋より、留学生日本語別科を設置し、定員40名を充足できた。

また、交換留学(派遣)については、カナダ・タイ・マレーシア・台湾・香港へ計23名を派遣した。

2. イスラエル閣僚の核使用発言に抗議し、イスラエルのガザ地区への攻撃の即時停止を求める四大学声明

11月29日、本学及び長崎県内のキリスト教主義の私立大学(活水女子大学・鎮西学院大学・長崎純心大学)により、イスラエル閣僚による核使用発言への抗議と即時停戦を求める共同声明を発表した。また、鎮西学院創立150周年に向け、独自の平和学の構築に向け、学内及び上記大学等との共同研究を開始した。

3. 地域連携・産学官連携への取り組み

1) 受託事業一覧

【2023年度 受託事業一覧】

調査・事業名	委託元	金額
まちづくり研究室・生涯学習室の運営	諫早市	—
令和5年度諫早市中中学生イングリッシュキャンプ	諫早市	150,000 円
音楽による地域活性化事業	ありえ蔵めぐり保存会	50,000 円

2) 九州西部地域大学短期大学連合産学官連携プラットフォーム

引き続き、長崎県・佐賀県の国公立大学・短大、自治体、産業界によるプラットフォーム形成事業に参画し、私立大学改革総合支援事業「タイプ3 地域社会への貢献(プラットフォーム型)」に採択された。本学は、プラットフォーム事業において「人材育成・高大連携ワーキング・グループ」責任校として、当該事業に積極的に参画し、キャリア支援プログラムや共同入試を実施した。

3) 公開講座実施状況

九州西部地域大学短期大学連合産学官連携プラットフォーム事業に関連して、参画する大学と共催で、社会人向けの公開講座を実施した。

講座	主催	開催日
九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム公開講座 社会人キャリア形成プログラム「NO CODE でアプリを作ろう！」	鎮西学院大学、長崎外国語大学	2023年9月23日(土)
		2023年9月24日(土)
	鎮西学院大学、長崎外国語大学、九州龍谷短期大学	2024年2月17日(土)

4. 学生募集・広報活動の状況

1) 高大連携関連事業

鎮西学院高等学校との高大連携について、引き続き「高大連携講座」に年間を通して取り組むとともに、全学年を対象とした連携プログラムを実施した。また、2年生を対象としたワークショップを実施し、大学教員や学生との交流を図ることで、本学への理解を深めてもらうことができた。

福祉教育フェスティバル(福祉体験成果発表、福祉教育セミナー)は、高校生の聴講参加に制限を設けず、コロナ禍前の状況に近い形で開催することができた。

2) 学生募集活動

【定員充足率の推移】カッコ内は充足率

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
在籍学生数	475 (81.9%)	548 (94.5%)	608 (104.8%)	621 (107.0%)	659 (113.6%)
1年次入学者数 (内訳)	136 (97%)	166 (118.5%)	175 (125%)	166 (118.5%)	182 (130%)
社会福祉学科	26 (52%)	50 (100%)	53 (106%)	50 (100%)	49 (98%)
経済政策学科	62 (124%)	62 (124%)	83 (166%)	82 (164%)	77 (154%)
外国語学科※	48 (120%)	54 (132.5%)	39 (97.5%)	40 (100%)	56 (140%)

※ 外国語学科は、2024年度より多文化コミュニケーション学科へ名称変更

※ 外国語学科の学生数は交換留学生含む

3) 留学生募集

【留学生入学者推移】

	2020年度	2021年度		2022年度	2023年度		2024年度
	4月	4月	10月	4月	4月	10月	4月
1年次	37	35	1	16	17	-	22
うち私費	32	31	1	13	11	-	14
うち交換留学生	5	4	0	3	6	-	8
3年次	3	2	0	1	0	-	2
うち三年次編入	3	2	0	1	0	-	1
うち短期	0	0	0	0	0	-	1
学部生合計	40	37	1	17	17	-	24
日本語教育プログラム	114	1	0	138	42	-	0
留学生日本語別科						40	32
留学生合計	154	38	1	155	59	40	55

※2020年度の日本語教育プログラムは、3月以降、ネパールのロックダウンのため学費入金済の学生数を計上。

5. その他の主な教育研究活動

<2023年度累積 GPA 学年別平均>

	年度	1年	2年	3年	4年
平均	2021年	2.44	2.55	2.70	2.59
	2022年	2.44	2.49	2.67	2.71
	2023年	2.62	2.49	2.53	2.80
最高	2021年	3.76	3.94	4	3.85
	2022年	3.81	3.75	3.91	3.88
	2023年	3.83	3.82	3.77	3.92
最低	2021年	0.35	0.41	0.57	1.12
	2022年	0.42	0.26	0.63	0.59
	2023年	0.79	0.42	0.37	1.11

<学長賞・成績優秀賞>

学長賞…卒業時に、4年間で卒業要件を全て充足し、かつ累積 GPA が 3.50 以上の上位の者、若しくは学期毎に、20 単位以上を修得し、かつ累積 GPA が 4.0 以上の者。

成績優秀賞…学期毎に、20 単位以上を修得し、GPA が 3.50 以上の者。

2020年度	1年	2年	3年	4年
前期	15	14	8	0
後期	12	15	6	7
2021年度	1年	2年	3年	4年
前期	13	11+1(学)	14+1(学)	0
後期	15	10	22	8+1(学)

2022年度	1年	2年	3年	4年
前期	10	6	13	2
後期	11	6	10	13+1(学)
2023年度	1年	2年	3年	4年
前期	7	15	14	0
後期	17	10	9	9+1(学)

<障害学生の在学状況>

	聴覚障害学生	肢体不自由学生	その他	計
2020年度	0人	1人	10人	11人
2021年度	0人	1人	14人	15人
2022年度	0人	2人	13人	15人
2023年度	0人	1人	19人	20人

<科目等履修生の受入状況>

	前期	後期
2020年度	3人	5人
2021年度	4人	4人
2022年度	3人	3人
2023年度	9人	8人

(English Proficiency、重複障害者教育総論、特別支援教育実習、発達障害者教育総論、知的障害者の理解と支援、社会科・公民科教育法、教育実習)

※日本語教育プログラム受講生を除く。

<部活動の主な成績・活動>

クラブ名	大会名	結果
卓球部 男子	全九州春季学生卓球選手権大会(熊本)	団体:1部5位 シングルス:16位
	全九州秋季学生卓球選手権大会(福岡)	団体:1部6位 シングルス:10位
	長崎県卓球選手権大会(長崎)	シングルス:ベスト8
	全日本大学学生選手権大会(石川)	シングルス:出場
	九州新人卓球選手権大会(福岡)	シングルス、ダブルス:2名出場
	全九州選手権大会予選(長崎)	シングルス:4位
	オール西日本卓球大会(福岡)	シングルス:出場
	大阪国際招待卓球選手権大会(大阪)	シングルス:出場
	東京卓球選手権大会(東京)	シングルス:出場
	全九州卓球選手権大会(宮崎)	シングルス:出場
卓球部 女子	全九州春季学生卓球選手権大会(熊本)	団体:2部優勝 1部昇格 シングルス:3位
	全九州秋季学生卓球選手権大会(福岡)	団体:1部6位 シングルス:12位、15位

	県会長杯(長崎)	シングルス:優勝
	長崎県卓球選手権大会(長崎)	ダブルス:4位
	全日本大学学生選手権大会(石川)	シングルス:出場
	九州新人卓球選手権大会(福岡)	シングルス、ダブルス4名出場
	全九州卓球選手権大会予選(長崎)	ダブルス:優勝
	オール西日本卓球選手権大会(福岡)	シングルス:2名出場
	全九州卓球選手権大会(宮崎)	シングルス:2名出場 ダブルス:出場
バレー部 男子	九州大学春季バレーボール男子チャレンジマッチ(佐賀)	予選突破 ベスト16
	九州大学秋季バレーボール男子チャレンジマッチ(熊本)	予選突破 ベスト16
	天皇杯全日本バレーボール選手権大会(長崎)	トーナメント ベスト8
バレー部 女子	九州大学春季バレーボール女子チャレンジマッチ(長崎)	予選グループ戦1位通過 順位決定戦トーナメント3位
	九州大学秋季バレーボール女子チャレンジマッチ(福岡)	予選グループ戦1位 順位決定戦トーナメントベスト8
	皇后杯全日本バレーボール選手権大会(長崎)	ベスト8
サッカー部	第46回九州大学サッカートーナメント予選、プレーオフ	第1節 大分大学 3-1 第2節 大分大学 5-3 PO 九州保健科学大学 PK5-4
	第46回九州大学サッカートーナメント本戦(鹿児島)	1回戦 熊本学園大学 1-0 2回戦 日本経済大学 2-4
	第78回国民体育大会 長崎県国体サッカーチーム(成年男子)選出	2名(経済政策学科3年、経済政策学科2年)
	R6年度長崎県大学サッカー秋季リーグ	準優勝 第1節 長崎県立大学 1-0 第2節 長崎国際大学 4-3 第3節 長崎県立大学 3-0 第4節 長崎国際大学 1-2
	第5回九州大学サッカー新人戦(福岡)	第5位 1回戦 熊本学園大学 2-0 2回戦 長崎国際大学 PK4-3 準々決勝西南学院大学 1-3
	第35回(天皇杯)長崎県サッカー選手権大会大学予選	優勝 1回戦 長崎国際大学 PK4-1 決勝戦 長崎総合科学大学 3-1
スポーツ クライミング	にしけいカップ九州スポーツクライミングコンペティション(ボルダリング競技)3/5	ミドル女子11位
	にしけいカップ九州スポーツクライミングコンペティション(リード競技)3/19	成年女子4位
	シーハットカップ2023(リード競技)6/11	エキスパートクラス8位

	第18回クライマーズチャレンジカップ(リード競技) 8/20	アッパーミドルクラス 13 位
	スポーツクライミングジャパンツアー- 2023 ホルダ-第 4 戦 10/28	女子 34 位
	スポーツクライミングジャパンツアー- 2023 リード第 4 戦 11/19	女子 30 位
ウエスレヤン ジャズアンサンブル WJE	佐世保周辺のジャズコンサート(4/2)	
	ちよいわるおやじ演奏(4/8)	
	諫早美歴演奏 week(5/3)	
	日の出公民館コンサート(5/3)	
	にじフェス(5/27)	
	諫早駅ルノンマルシェ(6/24)	
	諫早南ロータリー合併演奏(6/26)	
	ロータリー最終例会(6/29)	
	たらみジャズ(7/8)	
	竹松浴衣祭り(7/22)	
	万灯川祭り(7/25)	
	就活応援フェア(8/1)	
	干拓の里夏祭り(8/19)	
	小長井フェス(8/27)	
	島原翔南高校 20 周年記念祭(9/3)	
	のんのこ諫早まつり(9/16)	
	スカイランタン(9/30)	
	大村グルメフェス(10/1)	
	特別養護老人ホーム(10/7)	
	小長井フェス(10/21)	
	エコフェスタ(10/22)	
	\$2 祭	
	ルノンマルシェ in 諫早(10/29)	
	伊王島灯台(11/3)	
	東京三大学交流会演奏(11/11)	
	いさはや灯りファンタジア(11/26)	
	鎮西学院大学クリスマス点灯式(11/30)	
フェスビタスナタリス(12/2)		
NAGASAKI CITY JAZZ(12/10)		
いさはやクリスマスマーケット(12/16)		

	長崎県アンサンブルコンテスト(12/27)	金賞
	ライオンズクラブ国際協会新春合同例会(1/19)	
	OMURA ポップス&ジャズコンサート(2/12)	
	ありえ蔵めぐり(2/17)	
	笑顔あふれるチャリティーコンサート(2/23)	
	山川町ふれあいサロンでの演奏(3/5)	
	西諫早公民館春の音楽フェスティバル(3/19)	
	こどもの城開館 15 周年記念イベント(3/20)	
	ロータリーIM での演奏(3/23)	
	高来西ゆめ会館でのコンサート(3/25)	
	永昌東町商店街駅前公園開園記念式典(3/31)	
ぶっく倶楽部	ウェルカムビブリオ(4/20)	
	チームビブリオ(5/31)	
	諫早としょかんフェスティバル(7/2)	
	水曜おはなし会(8/2・9/6)[諫早図書館]	
	全国大学ビブリオバトル予選会(8/30、9/24、10/12)	
	長崎県中学生ビブリオバトル大会予選会 運営補助(10/1) [大村ミライ on/県主催]	
	ココビブ(11/3)[みらい長崎ココウオーク]	
	全国大学ビブリオバトルブロック決戦 A・C ブロック出場(11/18)[福岡女子短期大学]	
	3 校合同 読書に関する学習会(11/28) [諫早特別支援学校]佐世保特別支援学校はリモート	
	冬のおはなし会(12/9)[諫早図書館]	
	長崎県中学生ビブリオバトル大会本戦 運営補助(10/9) [大村ミライ on/県主催]	
	「市議さんと語る会」出席(1/20)[諫早図書館] (主催:諫早図書館利用者団体連絡協議会)	
放課後子ども教室(3/10)[シーハット大村]		

<学術研究>

● 個人研究費の配分状況

2023年度の個人研究費については、財務逼迫の折、昨年同様150千円の配分となった。

● 地域総合研究所共同研究費の配分状況

<採択課題一覧> 特定研究4件、特別研究7件、出版助成1件 計12件

	研究代表者	研究課題名
特定研究	平田 勝政	鎮西学院平和学
	吉田 耕平	データサイエンス認定プログラムの開発
	赤石 孝次	長崎の経済とビジネス
	菅原 良子	PBL等、新たな海外プログラム開発経費～福祉・教育・スポーツの視点から～
特別研究	アハメド・ジュナエド・ウッデイン	バングラデシュの総輸出量の80%以上を占める既製服(RMG)企業の社会的責任(CSR)について。 A study on Corporate Social Responsibility (CSR) of Readymade Garments (RMG) company that contribute more than 80% to Bangladesh's total exports.
	加藤 久雄	旧大村領を中心とした潜伏キリシタン由来の集落および他地区の墓制の比較 -旧大村領の17～20世紀の潜伏キリシタン由来の墓制の理解に向けて-
	磯本 光広	行列簿記と有向グラフの変遷および現代的利用について
	吉田 耕平	災禍における社会的モビリティの研究:災害ビッグデータを用いた集団移動の解明
	銭坪 玲子	外国につながる子どもたちの支援-保護者の支援とペダゴジカル・ドキュメンテーションの試み-
	山口 弘幸	ジオパークのユニバーサルデザイン化の推進展開の検討
	登り山 和希	高大連携を切り口とした地域活性化に資する教科「総合」の教育プログラム開発
出版助成	吉野 浩司	『善く生きるための社会学—亡命知識人の思想』

● 科学研究費助成事業の獲得状況

「2023年度科学研究費助成事業」の継続課題は、科学研究費助成金2件と学術研究助成基金助成金5件であった。「2024年度科学研究費助成事業」への申請件数は8件、採択課題は1件であった。

2022年度より地域総合研究所共同研究応募者には科研費事業への応募を必須化しており、昨年度より応募件数は微増した。

以上

